

講義コード	16D1040000
講義名称	情報管理　＜秋＞
科目英文名	Information Management
開講責任部署	経済学部　経済学科
代表ナンバリングコード	INFS2440
単位数	2.0
時間割	秋学期: 水曜日 5 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
山口　智浩

授業形態	講義
------	----

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。 小レポート/小テスト
---------------	--

講義・演習概要	ビッグデータ，AIなどの新しい技術によって，今，我々の社会は大きな変化の時にあり，従来は困難だと思われていた様々な分野でAIの実用化が進んでいます．AI(人工知能)とは, 人間が持つ知性や知能を人工的に実現する技術で，ビッグデータの中に潜む規則性を発見し，利用する手法の裏方でもあります．この科目では，AIが我々の生活や社会でどう使われていくのか，どう変えていくのかを論じます．
学習（到達）目標	(1) 最近のAI，IT/ビッグデータ分析等の概要とAI技術，特に学習型AIのしくみや長所・短所を理解し，説明できる． (2) 社会のしくみを変えるAIの活用事例，人とのコミュニケーション技術のビジネス活用を理解し，説明できる．

講義・演習計画

回	内容
第1回	ガイダンス：経営・経済学科の学生向けに興味を持って頂ける内容を中心に(教科書の章立てに沿って)講義を進めます．各回では，まず最近のAI/IT分野の技術の実例，しくみ，特徴などを説明し，次に社会に普及した場合の可能性(光と影)，現状(到達点と課題)について講義します． 第1回: AIとは何か(AI入門) ・アンドロイド研究の最前線 -到達点と課題- ・ロボットは東大に入れるか？ 東大ロボプロジェクト -大学入試問題を(科目別に)学習するAI研究の到達点- ・6章 AIは人間を超えるのか？ -人とAIとの望ましい未来とは？- より 6-3 AI は仕事を奪うのか？ 6-5 AI が人の能力を高める-拡張AIプロジェクト-
第2回	第2回　生成AIとは？ ・生成AIとは -注目を集める背景や問題点- ・ChatGPTとAI技術の歴史，ChatGPTのしくみ，生成AIでできること
第3回	AIの役立て方 -応用，実力，限界を知る- ・AIとは何か？-AI研究・定義の移り変わり- ・日常生活の課題をAIで解く- 人xAIのデザイン力 - ・ビッグデータ分析 -「AIに聞いてみた どうすんのよ！？ニッポン 第4回 超未婚社会」より-
第4回	1章前半 AIの最新動向(活用と技術) Q. 最近のAIブーム（を支えるAI技術）はどのように生まれ，発展してきたのか？ 1-1 (pp.10-15) AIの進化と利用の拡大 1-2 (pp.16-20) AIブームの変遷 -自己対戦型学習-
第5回	1章後半 ディープラーニングの誕生 -AIブームの歴史- Q. AI冬の時代の役割は何か？ 1章前半 AIの最新動向（1-3～1-4節）ニューラルネット ～顔認証 2章 AIの基礎知識(その1) 2-1節 機械学習(前半)

第6回	2章 人間の脳を模倣する！ AIの基礎知識 2-1後半: 機械学習で用いる統計手法 強化学習 -複雑な行動の強化- (自律走行レーシングカー、犬のクリックートレーニング) 2-2前半: ディープラーニング(その1) -NNの構造、 内部表現、 ブラックボックス問題-
第7回	2章 AIの基礎知識(その3) Q. どうやってインパクトのある、 人の役に立つ仕事ができるか？ 2-2後半: ディープラーニング(その2) -NN多層化による問題点とそれらの解決- 2-4前半: DLによる画像認識(その1) -応用1: (画像内の)物体検出-
第8回	2章 AIの基礎知識(その4) 2-4後半: 画像認識(その2) -動画画像認識, 顔認証, 生体認証- ・暮らしが激変！？ 急速に広がる“顔認証” ・顔認証技術の便利さと危うさ, 規制の動き, 到達点と課題
第9回	2章 AIの基礎知識(その5) 2-4 画像認識(その3) ・画像にまつわる新たな犯罪事例, 個人情報を公開するリスク, 特定屋- ・クラウド型・写真管理サービスの進歩 2-3 音声認識 -キカイと人とのコミュニケーション技術の動向(その1)-
第10回	2章 AIの基礎知識(その6) キカイと人とのコミュニケーション技術の動向(その2) 2-5 自然言語処理(ことば) -機械翻訳の到達点と課題, センチメント(感情)分析, 記述問題の自動採点- 2-6 ナチュラルインタフェース(ことば以外！) -GUI, iPhone: タッチパネルとジェスチャ操作- 2-7 チャットボット -チューリングテスト: 相手はAIか人か？ ことばのやりとりだけで区別できますか？-
第11回	3章 社会のしくみを変える！ AIの活用事例集 人とのコミュニケーション技術のビジネス活用(第1回) ・DLなしの対話分析 -概要・しくみ・モデル- ・ジョブズのスピーチ分析 -Connecting The Dots- (若き日のスティーブ・ジョブズxカリグラフィー = Mac)
第12回	3章 人とのコミュニケーション技術のビジネス活用 (第2回 オフィス自動化1) 3-2 EC・小売1 -AIがリアル世界のサービスを変える- ・ECとは？ 英国/ロンドンのオンラインスーパー事情 ・RPA：パソコン事務作業の自動化 -(英語圏の、 国内の)事務作業はどこまで自動化できるか？-
第13回	3章 人とのコミュニケーション技術のビジネス活用 (第3回 オフィス自動化2) -21世紀は、 ITやAIがオフィスを自動化する時代- 3-4 金融 -金融 x AI の現状から仕事の近未来を観る- 3-2 EC・小売2 -VRショッピング：国内外の現状と課題-
第14回	3章 人とのコミュニケーション技術のビジネス活用(第4回 オフィス自動化3) 3-2 EC・小売3 ・AR技術のショッピング応用 ・デジタルマーケティング(AI×MA) -AIがもたらすマーケティングの進化とは？-
第15回	5章 AIの原理と研究の最前線, 5-3 GAN: 画像などのフェイクデータを生成する技術 ・概要, 学習のしくみ, 主な応用例, GANの光と影 (様々な応用, 可能性と課題) 6章 AIの発展と未来 - 人とAIとの付き合い方について考える -

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	0%
レポート	50%
その他	50%

成績評価の方法（コメント）	レポート：2つの学習(到達)目標に対応する課題(論述)を2回、授業中に実施(25% x2回、持ち込み可)する。 講義内容を理解した上で、以下の3点に重点を置いて評価する。 1．興味を持った内容を表すキーワードを複数挙げられるか。 2．最も興味をもった内容を各自の言葉で説明しているか？(講義内容以外の身近な例や話題などと関連づけているか) 3．最も興味を持った内容に対して、自身の考えを根拠を示して論理的に述べているか。 その他：出席課題(10行程度の小レポート)を計10回程度実施(50%)する。目的は、講義内容に関する問いを元に能動的に講義を受けることである。
---------------	---

参考文献	「図解入門 最新人工知能がよ〜くわかる本」, 秀和システム, 神崎 洋治著, 2016年 「図解 人工知能大全」, SBクリエイティブ, 古明地 正俊, 長谷 佳明著, 2018年
事前および事後学習の指示	原則として、講義はシラバスに沿って順に進めます、講義の内容を十分に理解するために、事前にシラバスを参照して、毎回事前配布する講義スライドをざっと下読みしておく、講義の内容が理解しやすくなるでしょう。 事後学習では、講義内容のうち興味や疑問を持った内容について、スライドで紹介した参考文献に進まれると理解が深まります。 レポート課題の準備とし

	て、興味をもったキーワード、内容や疑問点、講義での最も重要な点は何かをノートに書き出しておくのがお勧めです。
学習時間	事前学習時間：30時間 事後学習時間：30時間
キーワード	人工知能、AI、ビッグデータ分析、しくみ、活用事例、キカイと人とのコミュニケーション技術、オフィス自動化
備考(管理者用)	(旧：情報検索論) 02～07生読替☆ (旧：情報検索論B) 08～12生読替☆E・B生のみ履修可能

講義コード	1P68008002
講義名称	現代政治と経済＜秋＞
科目英文名	Contemporary Politics and Economy
開講責任部署	
代表ナンバリングコード	000GE101
単位数	2.0
時間割	秋学期: 水曜日 5 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名
吉井 武史

授業形態	講義
------	----

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。 小レポート/小テスト
---------------	--

到達目標	社会人基礎力としての「政治」および「経済」に関する基礎的教養を習得する。
授業概要	初頭・中等教育学習課程における「政治」「経済」に関する内容を抽出し、実践的教養を習得することを目的とする。
授業計画	1 法と憲法 2 大日本帝国憲法 3 日本国憲法の制定 4 内閣 5 国会 6 裁判所 7 地方自治 8 防衛問題 9 日本の領土問題 10 アメリカ合衆国の政治 11 ヨーロッパ主要国の政治 12 国際連合 13 EU 14 経済学の歴史 15 第二次世界大戦後の国際経済体制 最終レポート
教科書	授業中に随時資料を配布、もしくはウェブクラスにアップする。
参考書	授業中に適宜紹介する。
評価方法	最終レポート70%、小テスト30%。
既修条件	なし